

■会告

■日本放射光学会臨時評議員会議事録

日時：2005年7月2日(土) 10:30~12:30

場所：理化学研究所 東京連絡事務所 会議室

出席：野田幸男(議長), 柿崎明人, 浜谷 望, 菅 滋正,
北村英男, 石川哲也, 熊谷教孝, 松下 正, 河田 洋,
桜井健次, 宮原恒昱, 坂田 誠, 上坪宏道, 大隅一政,
野村昌治, 大熊春夫, 木下豊彦, 難波孝夫 以上, 18名

欠席：圓山 裕, 中井 泉, 谷口雅樹, 田中健一郎,
村上洋一, 鈴木芳生, 古宮 聡, 宇理須恒雄,
上野信雄, 佐藤 繁, 松井純爾, 横山利彦 以上, 12名

幹事会：出席 下村 理(会長), 高田昌樹(庶務幹事),
澤 博(渉外幹事)

西野三和子(事務局), 清水祐子(事務局)

欠席 木村真一(行事幹事), 中川敦史(会計幹事)

オブザーバー(特別委員会委員)：

雨宮慶幸, 片岡幹雄, 佐々木 聡, 太田俊明,

朝倉清高, 並河一道, 腰原伸也, 尾嶋正治

(審議事項)

1. アジアフォーラムの計画についてアジア諸国との対応
前回評議員会で検討を始めることを承認された新アジアフォーラムの計画について, 澤渉外幹事より経過報告の後, 下記の開催案が提案され, 9月3日開催の評議員会に詳細案を提出することが承認された。

会期：2006年11月24日(金)~25日(土)

関連学会 AsCA'06 2006年11月20日~23日

於：エポカル筑波

アジア結晶学会主催

会場：KEKの施設と宿舍

予算：原則独立採算

(報告事項)

1. 次世代光源特別委員会の経緯について

下村会長より, 下記の経緯が説明された。

- ・特別委員会の提案(2月7日)メール審議
- ・評議員会の承認(2月19日)
- ・特別委員会発足(3月14日)

雨宮委員長以下委員17名

委員会開催 3回

第1回 3月22日

第2回 4月12日(含：公開シンポジウム)

第3回 4月19日

- ・第2回評議員会(4月2日)で状況説明
- ・中間報告書の提出(委員長から会長宛)5月23日
- ・拡大評議員会からのメールによる意見聴取(6名からコメントあり)

引き続き, 下村会長より今後のアクションプランについて下記の説明がされた。

- 1) 中間報告書のHP掲載により, 会員からのパブリックコメントを求め, 最終報告書の取りまとめに反映させる。
- 2) 中間報告書についての臨時評議員会を開催し, そこの意見を拡大評議員の意見と共に特別委員会に伝え, 最終報告書の取りまとめに反映させる。
- 3) 特別委員会から提言された, 先端的リング型光源計画の策定と推進に着手するために, 「先端的リング型光源計画特別委員会」を発足させる事を提案する。

※関連する学会行事

日本放射光学会行事委員会企画 第2回若手ワークショップ
「次世代光源計画ワークショップ-未来光源が開くサイエンス-」
主催：日本放射光学会

後援：JST ERATO 腰原非平衡ダイナミクスプロジェクト
JST CREST 高田 X線ピンポイント構造計測プロジェクト

会期：2005年8月8日(月)~9日(火)

会場：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター
小会議室

2. 次世代光源特別委員会中間報告書について
雨宮特別委員会委員長より中間報告書について説明があり, 様々な立場から多数の活発な意見が出された。そこで足りなかった意見も含め, 意見は事務局宛にメールで報告し, 取りまとめたものを雨宮委員長に報告することとなった。次回の第4回特別委員会で最終報告書に関して審議することとなった。
3. 「先端的リング型光源計画特別委員会」の発足について
1.のアクションプラン3)の内容を受けて, 下村会長から新たな特別委員会の発足が提案され, 意見交換がされた。最終報告書と連動する為, 上記の2.の各意見の提出を待って, 次回第4回特別委員会にて審議することとなった。

第19回日本放射光学会年会・ 放射光科学合同シンポジウム開催要項

1. 開催日 2006年1月7日(土), 8日(日), 9日(月)
2. 場所 名古屋大学工学部 IB 電子情報館 (愛知県名古屋市千種区不老町)
3. 主催 日本放射光学会
共催 名古屋大学小型放射光実験施設設置促進委員会, 自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設, UVSOR 利用者懇談会, 高エネルギー加速器研究機構放射光科学研究施設, 高輝度光科学研究センター, 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター, 産業技術総合研究所光技術研究部門, SuperSOR 高輝度光源利用者懇談会, SPring-8 利用者懇談会, 東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設, 東京理科大学総合研究所赤外自由電子レーザー研究センター, 東北大学特定領域横断研究組織「シンクロトロン放射」, 日本大学電子線利用研究施設, 広島大学放射光科学研究センター, 兵庫県立大学 New SUBARU, PF 懇談会, 放射線医学総合研究所重粒子医科学センター, 立命館大学 SR センター, 立命館大学放射光生命科学研究センター
4. 組織委員会 ([] は推薦団体, ○は委員長)
稲田康宏 [KEK-PF], 岡島敏浩 [SAGA-LS], ○木村真一 [学会行事幹事], 小池正記 [産総研], 佐藤勇 [日大], 佐藤仁 [HiSOR], 佐藤衛 [PF 懇], 曾田一雄 [UVSOR 懇], 高木宏之 [東大物性研], 竹田美和 [実行委員長], 田中均 [SPring-8], 築山光一 [東京理科大], 中川敦史 [学会会計幹事], 難波秀利 [立命館大 SR], 難波孝夫 [SPring-8 懇], 兵藤一行 [放医研], 見附孝一郎 [分子研, プログラム委員長], 山根隆 [名大], 柳原美廣 [東北大], 山田廣成 [立命館大生命], 吉信淳 [SuperSOR 懇], 渡邊健夫 [New SUBARU]
5. プログラム要綱
 - ・7日は利用者懇談会と総会を行う予定です。
 - ・8日, 9日は企画講演, 特別講演, オーラルセッション, ポスターセッション, 懇親会, 企業展示, 施設報告, 市民講座等を行う予定です。

6. 参加費

	11月30日まで	12月1日以降 (現地での支払いをお願いいたします。)
放射光学会員	3,500円	5,000円
共催団体会員・職員	5,500円	7,000円
非会員	6,500円	8,000円
学生会員	1,500円	3,000円
学生非会員	2,500円	4,000円
懇親会 (一般)	5,000円	6,000円
懇親会 (学生)	2,000円	3,000円

- ・今回から, 参加登録を発表申込の際に一緒に行っていただきます。その際, 参加費および懇親会費の支払いの手続きも行ってください。支払いは, カード引き落としまたは銀行振込が可能です。手続きの方法は, 参加登録が開始された際に放射光学会ホームページ上 (<http://www.jsrr.jp>) でご確認ください。なお, 参加をキャンセルされた場合の返金はいたしません。
- ・参加登録のみの場合も, 同じく学会ホームページから事前に行ってください。
- ・参加者には事前に予稿集が送付されます。

7. 発表者資格

日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムの一般講演・ポスターの発表者（登壇者またはポスターの発表の場合は説明者）は、①主催団体の日本放射光学会会員、または、②共催団体の会員か職員に限ります。

- (1) 共催団体の会員または職員で日本放射光学会会員となっていない方は、放射光科学の発展に学会が果たしている役割をご理解いただき、日本放射光学会に入会していただくことを強く希望します。
- (2) 発表申込み時点で上記の資格を有しない方は、発表当日までに資格を取得する必要があります。特に、日本放射光学会への入会申込み手続きを至急行っていただくことを希望します。
- (3) 発表者が日本放射光学会の会員、または共催団体の会員・職員である場合は、共同発表者の中に上記の資格を満たさない方が含まれていても差し支えありません。

8. 発表申込について

- 受付開始：2005年9月20日(火)
- 申込締切：2005年10月20日(木) 17:00 厳守
申込方法：日本放射光学会ホームページ (<http://www.jssrr.jp>) を通して、予稿集原稿および参加申込とともに発表申込を行ってください。
- ネットワークトラブル回避の為、締切日直前の申込みはなるべく避けて下さい。
- 発表形式：オーラルとポスターがあります。希望される発表形式を選択して下さい。
- 発表番号通知：2004年11月上旬に日本放射光学会ホームページ上で公開いたします。

9. 予稿集原稿について

- PDF ファイルで作成の上、発表申込の際に投稿してください。
- 原稿形式 発表1件につき、予稿は1/2ページ（A5/横置き）です。（A5横置きの原稿2件を、A4縦置きの頁の上と下に並べます。）
- カラー印刷は受け付けませんので、ご了承下さい。
- A5（横長）に下記の要領で文字を打ち込み、原稿を作成して下さい。
 - ① 用紙の余白/上2.5 cm, 下1.5 cm, 左右2.5 cm
 - ② 1行目左端…実験を行った施設名（8ポイント）
 - ③ 2行目中央…表題（10ポイント）
 - ④ 3行目 …空ける
 - ⑤ 4行目中央…著者名・所属（8ポイント）
 - ⑥ 5行目 …空ける
 - ⑦ 6行目 …本文（8ポイント）

10. プログラムの掲載

- プログラムは、11月上旬に日本放射光学会ホームページ上に掲載いたします。
- 日本放射光学会誌「放射光」では、事後の第18巻1号（2006年1月末発行予定）に掲載いたします。

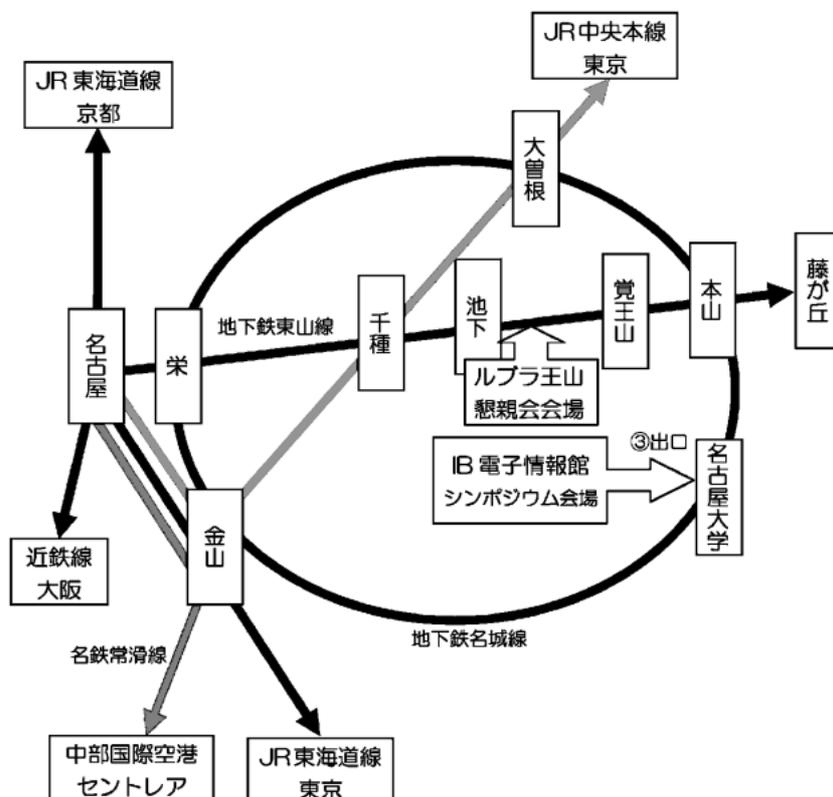
11. 企画講演の公募

今回は試行として、会員全体から企画講演を公募します。企画講演の形式や応募先・締切等は以下を参照ください。

- 時間配分：1つの企画講演を、趣旨説明を含めて全体で90分とする。
- 企画の提案者は、最初に趣旨説明を行う。
- 応募先：プログラム委員長（見附孝一郎、mitsuke@ims.ac.jp）宛に電子メールで、①提案理由（200字程度）、②講演者および時間配分を明記し、応募する。
- 応募締切：10月7日(金) 17:00

12. 会場へのアクセス、交通のご案内

- 会場へのアクセスは図のとおりです。



一ロメモ

月下美人

サボテン科クジャクサボテン属の常緑宿根草で、茎は平らで葉状である。つぼみが出来始めたら鉢を移動しないようにしておくと、夕方から芳香で純白色の大輪の花が開き、翌朝にはしぼんでしまう夜開性の一日花である。年間を通して鉢土を乾かし気味に管理することが大切である。また、増やす方法は勢いのある枝を切り取り、鹿沼土、赤玉土や川砂等の用土にさしておくと簡単に根付く。

大学では夏休みになりますと、4月からキャンパス内でワイワイ言いながら過ごしていた多くの学部生・大学院生が帰省や旅行で不在となり、静かになります。しかし、全国から高校生たちが一日体験教室への参加や大学説明会出席のためにキャンパスにやって来ますので、時々賑やかになります。ところで、2007年度からは大学受験者数が大学入学定員数と同程度となると共に、理工系離れが進んでいるために、彼ら・彼女らに対していかに魅力ある学科であるかの宣伝活動がますます重要となってきています。一方では、来年4月から新教育課程を修了しました入学生に対する授業内容の改定も急務となり、準備が大変です。これらに加えて国際学会出席、たまったデータを整理しての論文原稿書き等で落ち着いた夏休みを取れない方が多いことでしょう。しかし、その合間にスポーツで汗を流して、冷たいビールを飲みますと最高の気分転換となります。

(No. 64, K. Ohshima)

